

平成 16 年 10 月 5 日
アイワイバンク銀行

平成 17 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

株式会社アイワイバンク銀行（東京都千代田区、代表取締役社長 安斎 隆）は、最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 7 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を、下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1 . 平成 17 年 3 月期 業績予想の修正（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（金額単位：億円）

	経常収益	経常利益	法人税等調整額	当期純利益
前回発表予想（A）	414	51	- 1	- 1
今回修正予想（B）	475	87	9 2	96 2
増減額（B - A）	61	36	-	-
増減率（％） < 小数点第二位以下四捨五入 >	14.7	70.6	-	-
（ご参考） 平成 16 年 3 月期 実績 < 億円未満を切り捨て表示 >	291	30	21	50

- 1 当期純利益の**前回発表予想**につきましては、繰越欠損金等にかかる法人税等調整額の算出に必要な平成 18 年 3 月期の利益計画を策定できる状況ではなかったため、発表しておりません。
- 2 当期純利益の**今回修正予想**につきましては、繰越欠損金等にかかる法人税等調整予想額 9 億円を反映しております。

2. 業績予想修正の理由等

(1) 経常収益の上方修正(414億円→475億円)および 経常利益の上方修正(51億円→87億円)

ATM 利用件数の好調な推移について

〈 今年度の1日1台あたり利用件数見込みを約75件に上方修正 〉

当社の主たる収益は、提携先の銀行をはじめとした金融機関のお客さまが当社のATMをご利用された際に当該金融機関からいただく手数料ですが、今年度上期においては当初想定を上回るペースでATM利用件数が増加しました。

これは、金融機関との提携およびATM展開が進んだことに加え、各地域での広告宣伝活動を積極的に展開したこと等によりお客さまに一層認知していただき、その結果としてご利用頻度がより向上したことによるものと考えております。

こうした上期の状況を踏まえ、今年度(通期)のATM1日1台あたりの利用件数見込みを前回予想の約69件から約75件へと引き上げております。

ATM 設置台数の増加について

〈 期末ATM台数見込みを約10,100台に上方修正 〉

利用件数が好調に推移している等の状況を踏まえ、新たな地域への展開に加え既設置地域でのATM設置密度をさらに高めることから、平成17年3月期末のATM台数見込みは当初計画の約9,900台から約10,100台に見直しております。

経常収益、経常利益の増加について

上記の通りATM利用件数が当初見込みを上回る見通しであることから、ATM利用手数料収入を主体とする経常収益見込みを上方修正いたします。ATM台数増等により経常費用も増えると想定しておりますが、経常収益の増加がそれを上回る見込みであるため、経常利益の予想も上方修正いたします。

(2) 当期純利益(今回予想:96億円)

本年5月の決算発表時点では、繰越欠損金等にかかる法人税等調整額の算出に必要な翌期(平成18年3月期)の利益計画を策定できる状況ではなかったため、当期純利益の予想の発表は差し控えさせていただき、経常利益の予想だけを発表させていただいておりました。

今回、法人税等調整予想額を以下のとおり試算し、当期純利益の見込みを算定しております。

当期(平成17年3月期)末における税務上の繰越欠損金残高は、現時点で76億円と試算しており、翌期の課税所得の範囲内に縮小する見込みとなります。その結果、当期末の繰延税金資産の計上額は、繰越欠損金に関しては76億円を上限として勘案し、その他の要因も含め、30億円と見込んでおります。前期(平成16年3月期)末の繰延税金資産計上額21億円との差額9億円を、当期の法人税等調整予想額として、当期純利益見込み額を算定しております。

ご参考

平成 16 年 9 月中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）の業績見通し

<見通し>

（金額単位：百万円）

	経常収益	経常利益	法人税等調整額	当期純利益
平成 16 年 9 月中間期	22,300	4,300	2,100	6,300

当社は、平成 16 年 9 月中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）の業績予想については発表しておりません。上記は現時点での見込みであり、確定数値および詳細については、あらためて中間決算として発表させていただきます（11 月上旬予定）。

なお、当中間期においては、現時点での向こう 1 年間（平成 16 年 10 月～平成 17 年 9 月）の課税所得見込みに基づき、平成 16 年 9 月末時点で繰延税金資産を 42 億円計上する見込みであり、平成 16 年 3 月末との差額 21 億円の法人税等調整額が発生する見通しです。

開業来の業績実績と今回修正予想（通期）

<実績>

（金額単位：百万円）

	経常収益	経常利益	法人税等調整額	当期純利益
平成 14 年 3 月期	1,906	12,168	0	12,181
平成 15 年 3 月期	11,568	8,173	0	8,191
平成 16 年 3 月期	29,117	3,035	2,145	5,027

<今回修正予想>

平成 17 年 3 月期	47,500	8,700	900	9,600
--------------	--------	-------	-----	-------

以上

（注）本資料における業績予想につきましては、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社で判断した見通しであり、実際の業績結果と異なる場合があります。